

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年7月29日(17:00~17:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 大竹・花島・玉井・石田 NS・上園・三森・野田・山口・松本佳・加茂・サトウ・野口・小倉・井上・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	10人	0人	0人	15人

前回の改善計画  
事前の情報を整理し画像や動画も添付し情報把握・共有をすすめる。支援の中で得た情報を発信し職員間で意見交換をおこない、統一したケア、必要としている支援を行なう。

前回の改善計画に対する取組み結果  
新規利用者が続いた時期においても LINEWORKS 等で事前の情報確認を行い画像や動画があることで把握もスムーズに行えた。ミーティングや通常業務内のコミュニケーションの中、職員間で声を掛け合い意見交換情報共有を行えているため、利用者の状態を全体で把握し必要としている支援を行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	10	0	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	11	0	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	10	0	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	11	0	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
LINEWORKS・ミーティングを通して利用者の状況や今後の支援の方向性など情報共有ができています。問題があった時も適時見直しが行われ職員間で意見交換し、必要な支援を柔軟に提供出来ている。サービス開始時のまだ慣れていない時期には関係づくりのために本人や家族に声かけ気遣うことができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
シフトの勤務状況においてはミーティングに参加できない職員もおり、会議録や書面だけでは読み取りが難しいケースもあった。職員間でフォローできずに職員間にバラつきが出てしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
事前の情報を把握し職員間で確認し合い意見交換を少数単位で行うユニット会議を活用して情報共有することで不安をなくし、本人や家族・介護者が必要としている支援をおこなう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年8月31日(16:30~17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 大竹・花島・玉井・石田NS・上園・三森・野田・山口・松本佳・加茂・サトウ・野口・小倉・井上・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	11人	0人	0人	15人

前回の改善計画	個別ファイルや事前の情報で利用者の目標を把握した上で色々な角度からアプローチを行ない、日々の関わりの中で得た情報を見える化して職員間で共有し本人の目標を目指した支援にチームで取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	事前の情報をよく読み把握し、LINEWORKSを活用し写真や動画で情報共有し家族の意見も交え全体で目標を目指した支援に取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	15	0	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	12	2	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	14	0	0	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	12	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員一人ひとりが本人の目標を把握し、目標を目指した関わり、支援、自己実現アプローチを行えている。ケアにあたった職員は些細なことでもLINEWORKSにあげ、チーム全体で次の対応に活かすことができている。また、会議に参加することで自分だけの見方だけではなく多方面から利用者を知り、関わるができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「今のように暮らせている事で十分、特にないよ」とサービスについて伝えていただけの方の一方で、自分の思いや希望を言葉にしたり表現できない利用者とのコミュニケーションが思うようにできず、目標を踏まえ非言語的コミュニケーションを活用した対応ができていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事前情報を職員間で共有した上でケアにあたり、言葉や表現から思いを読み取れるように多方面からアプローチし「～したい」を手のひらから零れ落とさないように、一人ひとりの目標を目指した支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年8月23日(14:30~15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 大竹・花島・玉井・石田 NS・上園・三森・野田・山口・松本佳・加茂・サトウ・野口・小倉・井上・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	0人	0人	15人

前回の改善計画  
訪問・通い・泊まり時の支援の中で得た情報や家族からの情報を発信しミーティングを行ない、理解を深めチームで以前の暮らし方の把握や本人の声にならない声の言語化を進め支援に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
利用者、家族の会話から得た情報や自分が直接かかわっていないことでもブルーオーシャン・LINEWORKS・ミーティングなどで情報発信し、職員間で共有し各利用者の気持ちや求めている事を把握してチームで統一した支援ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	10	3	0	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	6	0	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	12	1	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	7	0	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	9	0	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用者一人ひとりに対して意識を持って接し、変化を見逃さずに職員間で情報共有・専門職を協働し利用者の状態に合わせた支援ができています。家族からの意見や職員間で気づいた事などの情報を基に利用者の人物像や生活環境について理解を深め以前の暮らし方を大切にしながら支援ができています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
職員によってスキルに差があり、利用者の思いを読み取ろうとしているが読み取りきれない場面があり全てを理解し言語化することはできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
利用者の生活環境や生活歴を把握したり、思いや気持ちを読み取り言語化するために、積極的にコミュニケーションをとり引き出していく。関わりの中で得た情報は些細なことでも共有し利用者の声にならない声をチームで言語化をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月30日(16:30~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大竹・花島・玉井・猪俣NS・上園・三森・野田・山口・松本佳・加茂・サトウ・野口・小倉・井上・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	11人	0人	0人	15人

前回の改善計画  
職員一人ひとりが常に意識し、繊細な情報もメモ・ブルーオーシャン・LINEWORKS・を活用して発信し職員間で情報共有して利用時間以外の生活や地域との関わり地域資源を把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
利用時間外全てを把握するのは難しいが得た情報は共有し、意識を持って全体で把握できるように努めることができ、地域資源の把握にもつなげている。情報量が多く、優先順位をつけ業務に必要不可欠なものから発信している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	4	9	1	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	11	0	0	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	14	1	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	12	2	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
生活スタイルや人間関係、地域資源の理解のために、送迎や訪問時に家族や地域の方との関わりを深め情報収集する意識ができており、些細な事も報告し合っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
本人の「これまで」より「現在」の状態、状況に目を捉われるため「これまで」の生活スタイルの理解や情報共有が手薄になってしまう。民生委員や地域資源の把握に個人差があり、現在関わっているもの等大まかには把握しているが、細かくは把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
一人ひとりがアンテナを高く情報収集を行い送迎や訪問時に得られた情報はLINEWORKSを活用して発信、職員間で情報共有し利用者の生活スタイルや地域資源を理解して地域での暮らしを支える取り組みにつなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月30日(17:00~17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大竹・花島・玉井・猪俣NS・上園・三森・野田・山口・松本佳・加茂・サトウ・野口・小倉・井上・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	14人	0人	0人	15人

前回の改善計画	訪問・送迎時やイベントでの地域とのコミュニケーションを継続し得た情報をブルーオーシャン・LINEWORKS を活用して職員間で共有し地域資源を活用しながら、利用者の状態、ニーズに合わせた、多機能な柔軟性ある支援を提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍の制限も解除されてきており、地域の方との交流も増え、地域資源を活用しながら一人ひとりのニーズに合わせた柔軟性のある支援を提供できた。利用者の状態についてはブルーオーシャン・LINEWORKS を活用して情報共有し、支援につなげる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	10	0	0	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	7	0	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	9	0	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	9	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎や訪問時など地域の方とコミュニケーションをとり、ご意見等を頂きながら、ニーズに合わせた支援が提供できている。利用者の状態を観察しその日、その時の状態に合わせた必要な支援が提供できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の小さな変化や細かな情報はどこまでLINEWORKSで発信してよいのか判断に迷い職員間で情報共有できていない事がある。地域資源の情報共有が不十分な為、職員間での理解に差がでてしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の状態変化や地域資源について、細かな情報もLINEWORKSや申し送りで職員間情報共有し、利用者や地域資源の理解を深め、状態・ニーズに合わせた柔軟な支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月28日(16:30~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 恩房・花島・玉井・猪俣NS・上園・三森・野田・山口・松本佳・加茂・サトウ・野口・小倉・井上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	0人	0人	14人

前回の改善計画	引き続き感染症対策を行い、季節の挨拶や手紙のやりとり等まめに交流を図り施設主催のイベントに地域の方々が来て下さるように with コロナ企画案を計画する。また、地域主催のイベントに参加して地域の方々の関わりを継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染症対策を継続しつつ、地域のイベントへの参加や夏祭りなど施設でのイベントを開催し可能な限り地域交流をおこない、地域の方々の関わりを維持できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	9	2	0	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	12	0	0	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	6	8	0	0	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	12	2	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ふらっとホームの定期的開催、地域の方々や他事業所との認知症カフェの立ち上げなどの他、ステーションギャラリーなど不定期なイベントを含め様々なイベントで子どもから高齢者まで地域の方々幅広く関わりをもち関係を継続しながらグリーンヒル八千代台を知っていただけるように活動できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
その他サービス機関との会議には計画作成担当者が参加及び開催を行っているが、会議内容の情報が担当介護職員に周知しているが、事業所全職員での情報把握までは至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)自治体・地域包括支援センターとの会議に参加した職員は他の職員へも周知した方が良い情報をLINEWORKSや小規模会議で発信する。参加していない職員は積極的にLINEWORKSや会議録等で記載されている内容の情報を自ら取りにいく意識を持って業務にあたっていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月28日(17:00~17:00)

7. 運営

メンバー 恩房・花島・玉井・猪俣NS・上園・三森・野田・山口・松本佳・加茂・サトウ・野口・小倉・井上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	9人	0人	0人	14人

前回の改善計画	事業所運営について職員一人ひとりが意識し、意見を持ち LINEWORKS や会議の場など発信しやすい環境づくりを行う。また、外部に向けては HP・広報紙の活動計画・報告を充実させ利用者・家族・地域に向けて発信を継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	法人広報紙「みどり」や事業所便り「小規模だより」・ブログなどで外部に向けて活動内容の情報発信ができた。事業所運営について職員一人ひとりが意識を持っていたが、発信しやすい環境(雰囲気)はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	11	3	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	6	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	7	0	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	6	8	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者・地域の方々からいただいた意見・苦情は真摯に受け留め、上長に報告し、LINEWORKS やご意見シートで関係部署で情報共有し、会議の場で職員間で話し合ったり研修を行って支援やコミュニケーションの方法を学ぶ機会を設けて解決できるように動いている。ふらっとホームや地域・学校の行事への協力・防災訓練など地域と協働して取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所のあり方について、個々の経験や知識に差があり、何をどのように、どのような場面で意見を発言していいのかわからないでいる職員が多く今後の体制への課題となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所運営について、現在の部門間会議・事業所内会議及び拠点会議、委員会等の目的を再度明確化してどの会議で何を話し合って意見を言っていくのか、体制を整え、全職員で共通理解し、業務改善・情報共有・意見交換をしていける体制構築をおこなう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月29日(16:30~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 恩房・玉井・花島・上園・加茂・山口・野口・野田・小倉・松本(佳)・井上・サトウ・長滝・猪俣・三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	13人	1人	0人	15人

前回の改善計画	研修に参加した職員が意識づけいくポイントなどわかりやすく他の職員に向けて発信し、体験・実践可能な内容は職員間で行なったり会議の場を用いて内容を共有し伝達研修を充実させるとともに、他事業所との研修会などにも色々な職員で参加していただける様にしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修に参加した職員が内容や資料を LINEWORKS で発信し、情報共有できているが体験や実践については統一した形で実践できておらずまだ不完全である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	10	0	0	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	11	1	0	15
③	地域連絡会に参加していますか	5	10	0	0	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	10	5	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
現場に活かせる研修・キャリアに合わせた研修に参加できており、職員のスキルアップや利用者満足度向上に繋がっている。リスクマネジメントについては職員それぞれがヒヤリハットや事故報告書を作成することで、日常の危険性に対して高く意識をし、リスクマネジメント委員会にて話し合うと共に、関連ニュースや事例は全体に発信・会議の場で事例を検討している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
スキルアップ研修について個人での勉強や職場内の研修は行っているが、外部研修への職員参加希望が少ない。地域連絡会には職員全職員で参加することもできないので話し合いの内容など具体的に伝達するところまで至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
研修や地域連絡会に参加した職員は資料や会議録を発信し、他の職員への報告・伝達を行ない、会議の場を用いて伝達研修・意見交換し内容を共有する。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月29日(17:00~17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 恩房・玉井・花島・上園・加茂・山口・野口・野田・小倉・松本(佳)・井上・サトウ・長滝・猪俣・三森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	0人	0人	15人

**前回の改善計画**  
 ふらっとホームなど外部との関わりも増えてきた事も踏まえ、職員間の伝達はBO・LINEWORKS・メモを活用し、口頭の際は声の大きさや内容に注意しプライバシーの保護に努める。言葉や物の配置など多面的に拘束などにつながらないように個々の職員が学べる機会をつくり、LINEWORKSなどを活用して随時発信し理解を深めていく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 地域との交流も増えている中でLINEWORKSやメモを活用し、職員間でプライバシーを保護しながら伝達、情報共有ができてはいるが職員が忙しい時は二重チェックができない事があった。どのような内容が拘束に繋がるのかなど研修や会議の場で学ぶ機会が定期的に持っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	7	0	0	15
②	虐待は行われていない	8	7	0	0	15
③	プライバシーが守られている	5	10	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	9	0	0	15
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	8	0	0	15

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 研修をおこない身体拘束や虐待について学び、利用者に安全で快適に過ごしてもらえるよう心掛けて業務に取り組み利用者の人権を守っている。限られた空間の中でもパーティションを使ったり、伝達はメモやLINEWORKSを活用しプライバシー保護に努めることができた。個人情報は鍵のかかる場所で保管するなど適切な管理を徹底できる。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 周囲に配慮しながら利用者への声掛けやケア、職員間の伝達や情報共有をおこなっているが、忙しい時など知らず知らず声のボリュームが大きくなってしまっている事がある。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 地域や外部との交流が増えている中で周りの環境に配慮しながら職員間の伝達はブルーオーシャン・LINEWORKS・メモを活用し口頭での伝達や利用者への声掛けは声の大きさや内容に注意して、忙しいほど職員間で連携を取りプライバシー保護に努める。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠燿会	代表者	理事長 津川恵美子	法人・ 事業所 の特徴	顔なじみのスタッフが、ご利用者やその家族等のニーズに適宜対応する為に必要なサービス[通い泊まり/訪問]を柔軟に組み合わせて提供することにより、ご利用者様の地域生活を総合的に支援し安心感を提供いたします。地域拠点として、世代間交流、共生 café や地域フェスタ、認知症カフェへの協力やご利用者との参加により支えあいの輪を広げる活動にも積極的に取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台	管理者	恩房 憲克		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	4人	0人	1人	1人	1人	2人	2人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ご利用者の情報や目標を把握した上でチームでどう取り組んでいくかを職員間で共有する。支援の中で得た情報は写真や動画等も活用し、見える化することで次へのアプローチへの意見交換をしやすい環境を作る。	LINeworks を活用し、ご利用者についてや業務についての不安点や統一したいことなどを事前にアンケート集計し、ユニット（少人数ごとの）会議で各議題に向けて話し合いが円滑にいくようにしました。また、ご利用者についてもその会議で、同じ方向性を持って支援できるように取り組んでいる。	防災に関して9つのテーマの中では読み取れない。様々なツールを用いて情報共有に取り組んでいる。介護職員の過半数を代表する者で組織することで、より効果的な計画を作ることが必要。	情報共有ツールを使うことで意見を出しやすい環境にし、ユニット会議で方向性を定め、月に1回の会議で評価や次のプランに向けての話し合いができるように取り組む。事前に意見徴集を行なうことで、会議の効率化も図る。
B. 事業所のしつらえ・環境	今年度は、大規模修繕工事が行われ、館内の雰囲気も変わるが、くつろぎと居心地のいい空間作りを意識し、季節感を持った環境作りにも努めていく。	大規模修繕工事中も、室内は季節感のある飾りや作品展示を意識しました。コロナが5類に移行しましたが、感染予防には標準予防策の実施を継続。	クリスマスのライトアップなどは素敵でした。コロナ前は2階3階にも自由にお邪魔できたので今後そうなるといい。	室内は、季節感のある飾り付けを意識し、ご利用者と共に壁面飾りなど空間作りを行なっていく。感染対策を講じてになるが、全館の行き来が制限なく行なえ、交流の機会が増えるように心がけていく。
C. 事業所と地域のかかわり	ふらっとホームや地域サークルの活動軌道により、地域住民の方々の立ち寄りもコロナ前の活気に戻りつつあるため、イベントなどへの参加を通して地域の相談ごとに共に取り組んでいく。グリーンヒル八千代台として地域を、八千代台圏域（北西・南東）・その他圏域（近隣市含む）と3ブロック化して担当者を配置し担当者同士効力をして地域活動を行なう。	地域の方々及びご利用者が利用するお店などと情報を共有し、ブロックごとに担当者が地域活動への交流を通して、地域の相談ごとに共に取り組める基盤作りが出来ている。	やちよカラーへの参加も地域住民の方に知ってもらえる機会としてとてもいい取り組みだと思います。イベントも盛んに行なっている。行政・社協が行なうイベントや地域ケア会議の傍聴へ参加を促し、より実践的に学ぶことが必要。	ふらっとホームや地域サークルの活動活発により、地域住民の方々との接する機会が増えているため、地域情報の収集や地域資源の共有、イベントのご協力など、地域に積極的に出て学びの機会も持つようにする。また、施設にも余暇活動のレクなどに訪問して下さるボランティアの受け入れが出来るように体制作りも行なっていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	徐々に地域行事に参加を再開しながら社会福祉協議会との連携も継続し、「地域で支える支援」に向けて、コミュニケーションを図り、情報共有を図って取り組んでいく。	地域行事に参加し、「地域で支える支援」として、福祉教育など社会福祉協議会と連携を取りながら行なっています。	地域資源に関しては、社会福祉協議会が協力できる部分なのでご相談ください。多機能らしく、自宅でも近隣の人たちにも、家族が開かれた考えを持つことが大切。地域民生委員とも連携を強化し、見守り体制を計画に練りこみ取り組むことが必要。	地域行事には積極的に参加し、世代間交流や福祉教育、認知症カフェなど各関係機関や民生委員の方々と連携・協働し「地域で支える支援」に向け取り組んでいく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	ふらっとホームなど地域の方々や協働で取り組みながら、地域での課題や取り組みを自治会や地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携を取りながら共有していく。今年度は認知症カフェ等も各関係機関とともに取り組みを行なう。	ふらっとホームは、地域の方のご協力を頂きながらの取り組みが継続。認知症カフェも自治会・地域包括支援センター・社会福祉協議会等と連携を取りながら、軌道に乗り、地域での課題に取り組み、情報交換・共有を行なっています。	地域にどんな方がいるのか、どんな困りごとを抱えているか具体的に知ることが出来る。事業所の抱える問題点について運営推進会議で共有し、意見聴取の機会を設けるといい。	ご利用者が住み慣れた地域で暮らし続けるためにも地域協力者の存在が不可欠。協力者の方々やミクロな地域情報などの収集と共有などを運営推進会議で行なっていく。また、施設行事や地域行事を行なうにあたり、施設の限られた資源では補えない部分などを明確にし、目的を共有した上で地域との協働体制を構築していく。
F. 事業所の防災・災害対策	避難経路の再確認を修繕工事後に、運営推進委員の方々や民生委員・自治会の方々にも確認して頂く機会を作り、防災についての取り組み、防災計画を防災訓練等を通して共有して頂けるようにしていきたい。	防災訓練は、修繕工事後に運営推進委員の方々や民生委員・自治会の方々にも確認いただき、ご指摘いただいた事柄を対処・対応。今後ともに防災訓練等を通して防災計画の共有に努めていきたい。	2階から上の道路への入口の点検が大変（雑草等）。地域の方々や積極的に関わりを作っているの、災害時に地域全体でスムーズにできると思う。地域住民参加型防災訓練は良かった。役割の透明化が進むと安心が高まる。	防災訓練等を通して、地域住民の方々に防災計画を共有して頂けるように、また共に地域で防災・減災について協力し合えるように運営推進会議等でも話す機会を作るようにしていきたい。防災倉庫の確認も定期的の実施していく。